



輸入牛肉中の動物用医薬品検査



平成22年5月及び9月に食品専門監視班が収去した、市内に流通する輸入牛肉の筋肉10件について、動物用医薬品の合成抗菌剤28項目の検査を行いました。また、この輸入牛肉の脂肪10件について、内寄生虫用剤3項目の検査を行いました。

その結果、表に示したように、脂肪1件からモキシデクチンが0.01ppm検出されましたが、残留基準値をこえるものではありませんでした。

表 輸入牛肉中の動物用医薬品検査結果

項目名	件数	検出件数	検査結果	基準値	検出限界
(筋肉)					
【合成抗菌剤】					
エンロフロキサシン(シプロフロキサシンを含む)	10	0	N.D.	0.05 以下	0.005
オキシリニック酸	10	0	N.D.	0.1 以下	0.01
オフロキサシン	10	0	N.D.	含有しないこと	0.01
オルビフロキサシン	10	0	N.D.	0.02 以下	0.01
オルメプリム	10	0	N.D.	0.02 以下	0.02
クロピドール	10	0	N.D.	0.2 以下	0.01
サラフロキサシン	10	0	N.D.	含有しないこと	0.01
ジフロキサシン	10	0	N.D.	含有しないこと	0.01
スルファキノキサリン	10	0	N.D.	0.1 以下	0.01
スルファジアジン	10	0	N.D.	0.1 以下	0.01
スルファジミジン	10	0	N.D.	0.10 以下	0.01
スルファジメキシシ	10	0	N.D.	0.05 以下	0.01
スルファドキシシ	10	0	N.D.	0.1 以下	0.01
スルファペリジン	10	0	N.D.	0.1 以下	0.01
スルファメキサゾール	10	0	N.D.	含有しないこと	0.01
スルファメキシピリダジン	10	0	N.D.	含有しないこと	0.01
スルファメラジン	10	0	N.D.	0.1 以下	0.01
スルファモノメキシシ	10	0	N.D.	0.01 以下	0.01
ダノフロキサシン	10	0	N.D.	0.20 以下	0.01
チアンフェニコール	10	0	N.D.	0.02 以下	0.01
トリメプリム	10	0	N.D.	0.05 以下	0.02
ナリジクス酸	10	0	N.D.	0.03 以下	0.01
ノルフロキサシン	10	0	N.D.	含有しないこと	0.01
ピリメタミン	10	0	N.D.	含有しないこと	0.02
ピロミド酸	10	0	N.D.	含有しないこと	0.01
フルメキン	10	0	N.D.	0.5 以下	0.01
フロルフエニコール	10	0	N.D.	0.2 以下	0.01
マルボフロキサシン	10	0	N.D.	0.1 以下	0.01
(脂肪)					
【内寄生虫用剤】					
イベルメクチン	10	0	N.D.	0.040 以下	0.005
エプリノメクチン	10	0	N.D.	0.25 以下	0.005
モキシデクチン	10	1	0.01	0.50 以下	0.005

単位：ppm N.D.：不検出 検出限界：検出される最小の限界量

【検査研究課 微量汚染物担当】